

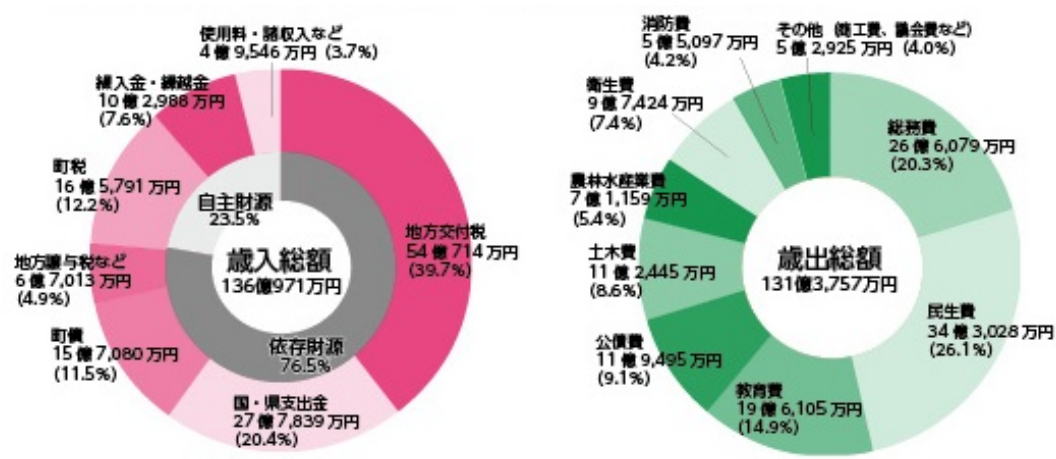
令和3年度決算のあらまし

令和3年度一般会計の歳入（収入）は136億971万円で、歳出（支出）は131億3,757万円であり、歳入歳出の差し引きは4億7,214万円となりました。

また、ここから令和4年度へ繰り越した事業の財源 5,773万円を差し引いた実質的な収支は、4億1,441万円の黒字となりました。

令和2年度と比較して、歳入では、特別定額給付金事業費補助金の皆減や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減少などにより国庫支出金が減少、学校給食センター改築事業などにより町債が増加し、総額で15億4,092万円減少しました。

また、歳出では、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策による特別定額給付金の支給により総務費が大きく増加、新鶴こども園整備事業などにより民生費も増加したため、総額で15億7,422万円減少しました。



一般会計決算収支の状況

区分	令和3年度 決算額 (A)	令和2年度 決算額 (B)	増減額 (A)-(B)	増減率
歳入 (ア)	136億 971万円	151億5,063万円	△15億4,092万円	△10.2%
歳出 (イ)	131億3,757万円	147億1,179万円	△15億7,422万円	△10.7%
差引 (ウ) = (ア) - (イ)	4億7,214万円	4億3,884万円	3,330万円	—
翌年度へ繰り越す べき財源 (エ)	5,773万円	3,332万円	2,441万円	—
実質収支 = (ウ) - (エ)	4億1,441万円	4億 552万円	889万円	—

特別会計及び公営企業会計の決算状況

特別会計及び公営企業会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理するもので、これらの令和3年度の決算額は次のとおりです。

会計名	歳入合計 (A)	歳出合計 (B)	差引額 (A)-(B)	
国民健康保険	24億3,181万円	22億7,748万円	1億5,433万円	
介護保険	31億9,619万円	29億3,239万円	2億6,380万円	
後期高齢者医療	2億5,183万円	2億5,155万円	28万円	
工業団地造成事業	7,145万円	6,808万円	337万円	
住宅用地造成事業	761万円	738万円	23万円	
永井野財産区	18万円	15万円	3万円	
水道事業 (公営企業会計)	収益的収支	4億9,059万円	4億1,067万円	7,992万円
	資本的収支	1億1,970万円	2億2,861万円	△1億 891万円
下水道事業 (公営企業会計)	収益的収支	5億9,146万円	5億7,741万円	1,405万円
	資本的収支	2億7,982万円	3億7,936万円	△9,954万円

町債残高（借入金）の状況

町債とは、主に町民生活の基盤である道路や公園、学校などの長期間にわたって町民の皆様にご利用いただく公共施設を整備するときに、国などから借りるお金のことです。

会計名	令和3年度末 残高	令和2年度末 残高	比較
一般会計	120億3,839万円	116億1,492万円	4億2,347万円
水道事業会計	7億 703万円	7億5,944万円	△5,241万円
下水道事業会計	33億8,208万円	35億3,161万円	△1億4,953万円
合 計	161億2,750万円	159億 597万円	△2億2,153万円

町民1人当たり残高 約84万円（昨年は約81万円）
（令和4年3月31日現在人口 19,203人）

一般会計の積立金（基金）の状況

基金の名称	令和3年度末 保有額	令和2年度末 保有額	比較
財政調整基金	50億3,095万円	43億1,369万円	7億1,726万円
減債基金	6億2,542万円	6億2,534万円	8万円
公共施設整備基金	27億8,934万円	29億1,749万円	△1億2,815万円
国営会津宮川土地改良事業基金	4億3,992万円	4億7,831万円	△3,839万円
震災復興基金	0万円	2,206万円	△2,206万円
その他基金	6億3,960万円	6億 465万円	3,506万円
合 計	95億2,523万円	89億6,154万円	5億6,380万円

町民1人当たり保有額 約50万円（昨年は約46万円）
（令和4年3月31日現在人口 19,203人）

（注）表示単位未満は四捨五入しており、積み上げ額と一致しない場合があります。